

「子どもの読書活動推進関係者資質向上研修会」事業報告

- 1 事業名 令和4年度子どもの読書習慣形成・定着支援事業（資質向上研修会）
- 2 研修内容
研修1〈実践発表〉「本との出会いのきっかけづくり」
筑後市立図書館 館長 一ノ瀬 留美 氏
研修2〈講話・演習〉「ようこそ、読書のアニメーションへ」
子どもの本かごしま 代表 種村 エイ子 氏
- 3 日時 令和4年11月15日（火） 13:00～16:40
- 4 会場 福岡県教育庁筑豊教育事務所（飯塚市立岩1401-2）
- 5 対象 市町村教育委員会社会教育・生涯学習関係課職員（読書活動・図書館教育担当者 等）
市町村公立図書館職員
市町村で活動している読書ボランティア
小・中・義務教育学校教職員（学校図書館司書・図書館教育担当教職員・司書教諭 等）
その他希望する方
- 6 当日の様子



【実践発表を行う一ノ瀬氏】



【講話・演習を行う種村氏】



【演習の様子①】



【演習の様子②】

本研修会は、小・中学生の不読率改善につながる取組について学び、子どもの読書習慣形成に向けた今後の実践に活かしていただくことを目的に、研修内容を企画しました。

一ノ瀬氏による実践発表では、図書館長としての考えや読書ボランティアとしての想い、御自身の経験などにも触れながら、貸出冊数を約3倍に伸ばすことにつながるこれまでの取組を幅広く紹介していただきました。図書館の運営やイベントを企画・実施するにあたって、図書館の役割や本質を常に意識することの重要性を再確認しながら、今後取り組んでいく上でのヒントをたくさん頂くことができました。

種村氏による講話・演習では、アニメーションについての講話の後に、絵本「てぶくろ」を使った「わたしはだれでしょう？」と、中学校国語の教科書に載っている10冊の本を使った「どの本読もうかな？」の2種類のアニメーションを実際に行っていただきました。演習では、参加者の皆さんが終始笑顔で取り組み、アニメーションの魅力や本の世界の可能性を大いに感じる時間となりました。

研修後のアンケートには、「今日のような本の紹介の仕方があると知り、とても勉強になった。」「子どもたちに少しでも楽しく本に親んでもらうために、アニメーションをぜひやってみたいと思う。」「一ノ瀬館長から頂いたたくさんのヒントをもとに、少しアレンジして取り組んでいきたい。」等の感想が多くあり、本研修会を通して、小・中学生の不読率改善につながる取組についての知識・理解を深めるとともに、子どもの読書習慣形成に向けた今後の実践への意欲を高めることができましたと考えます。